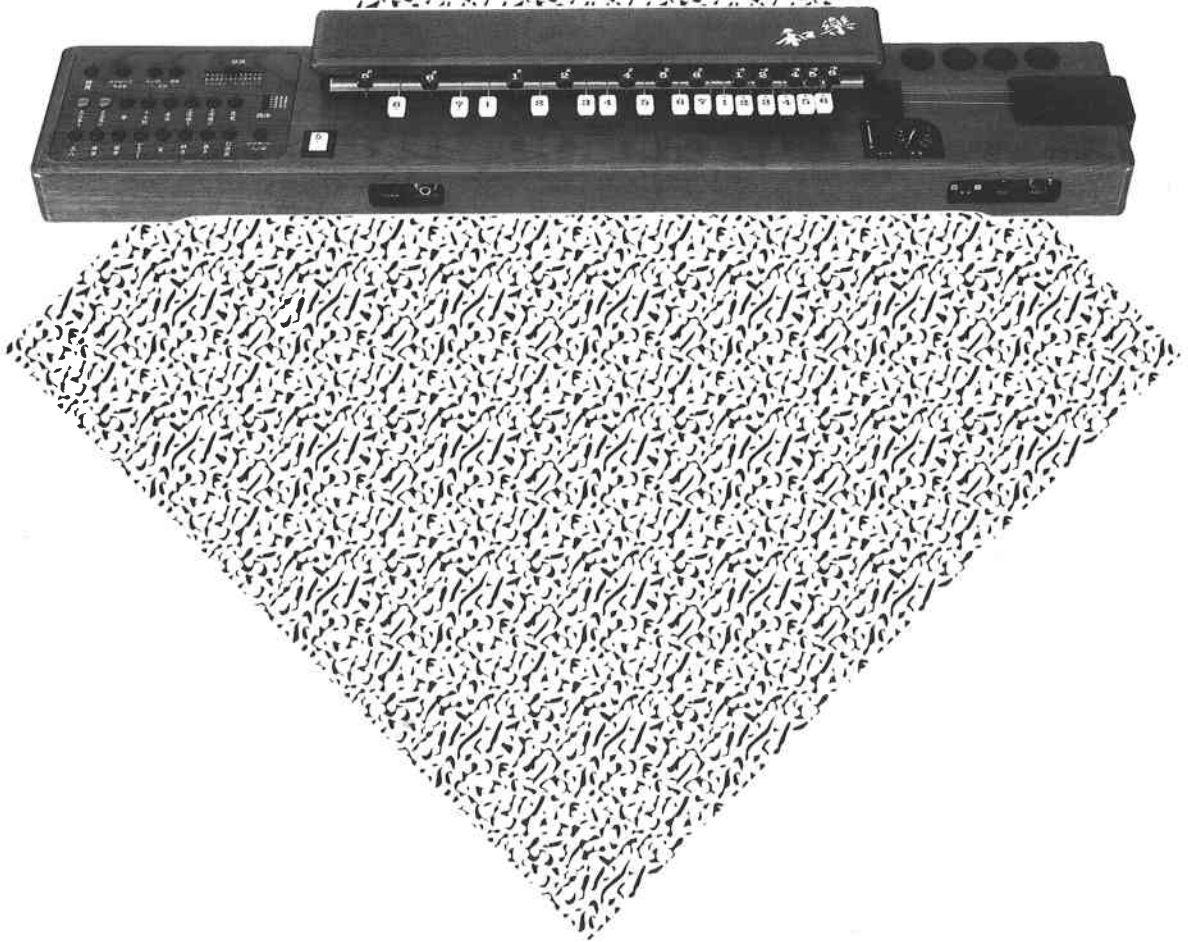


スズキ電子大正琴

# 和 樂

取扱説明書



この度はスズキ電子大正琴「和楽」をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本製品は、熟練した職人の木工技術と最新の電子技術とで創り上げた、まったく新しいタイプの大正琴型電子楽器です。

大正琴はもちろんのこと、箏・三味線・琵琶・笙など邦楽には欠かせないさまざまな音色を忠実に再現、大正琴そのままの感覚で演奏することができます。

この電子大正琴「和楽」で、さらに広がりました大正琴の新たな可能性を、充分にお楽しみください。

## 目 次

---

- 主な特長……………①
- 仕 様……………①
- 各部の名称とはたらき……………②
- 演奏の前に……………④
- さまざまな機能を使って弾いてみましょう……………⑤
- 第五絃スイッチについて……………⑥
- 太鼓センサーへの登録……………⑦
- 絃の張り替え……………⑧
- ご注意……………⑨
- 故障と思われる前に……………⑩
- MIDIについて……………⑪
- MIDIインプリメンテーションチャート……………⑫

---

## 主な特長

---

- ①自然素材を使って丁寧に仕上げられており、落ち着いた、風格のあるデザインになっています。
- ②従来の大正琴の演奏法で、16種類の音色を楽しむことができます。  
大正琴はもちろんのこと、箏・三味線・琵琶を初め、雰囲気のある掛け声やリアルな打楽器という効果音での演奏もできます。
- ③解かりやすいスイッチ類なので、使い初めたその日から、すぐに演奏できます。  
(電子楽器は苦手という方にも、電子楽器の複雑さを意識させない親切な設計になっています。)
- ④スイッチを切り替えるだけで、絃を弾かなくても、鍵盤演奏ができますので、鍵盤楽器の経験のある方もすぐに「和楽」の素晴らしさを楽しむことができます。
- ⑤電子楽器なので調律の必要がありません。(ピッチは、440・441・442・443・444の5段階切り替え可能です。)  
さらに、トランスポーズ機能で移調も思いのままです。
- ⑥楽しい音楽活動の中で、「和楽」を活用するための充実したソフトを随時提供してまいります。

---

## 仕様

---

- 音域・鍵盤…………… 5~6<sup>#</sup>
- 絃…………… 第1・2・3(細線)、第4(細巻線)、第5(太巻線)
- 音色…………… 16音色  
大正琴1・2・箏・十七絃・唐琴・三味線1・2・琵琶・尺八・篠笛・能管・ひちりき・笙・胡弓・掛け声・打楽器
- 効果…………… ビブラート・ピッチベンダー・太鼓センサー
- コントロール…………… 音量・移調・調律・オクターブダウン・5絃オフ・演奏モード切り替え・5絃調律
- 外部端子…………… 外部出力・MIDI出力・ヘッドホーン出力
- 定格端子…………… DC9V
- 消費電力…………… 2.3W
- 重量…………… 3.4kg
- 付属品…………… ACアダプター・接続コード・高級ハードケース・予備絃

# 各部の名称とはたらき

## 鍵盤スイッチ

スイッチを押すとランプが点灯し、鍵盤を押さえるだけで音が出ます。

## オクターブスイッチ

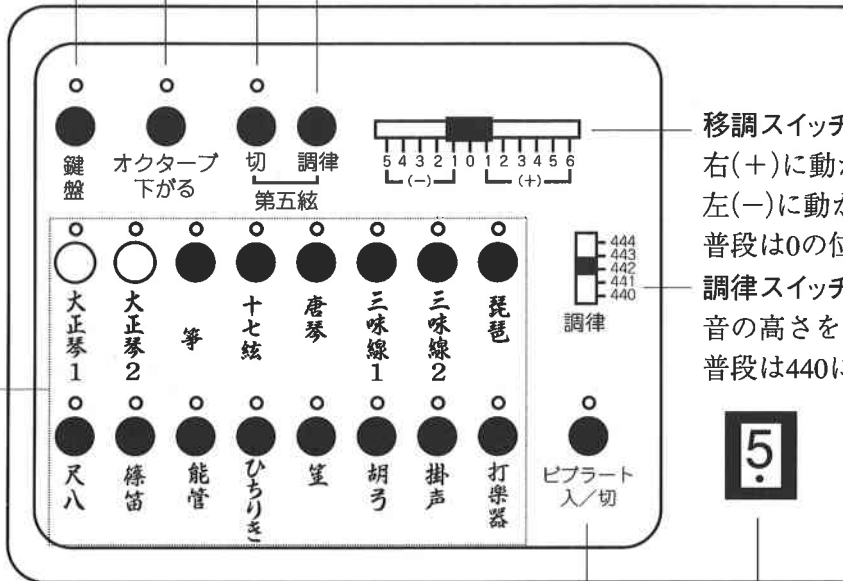
スイッチを押すとランプが点灯し、音程が1オクターブ下がります。

## 第五絃スイッチ(切)

スイッチを押すとランプが点灯し、第五絃(G線)を弾いても音が出ません。

## 第五絃スイッチ(調律)

第五絃(G線)の音程を変えるときに使用します。



## 移調スイッチ

右(+)に動かすと半音ずつ上がり、左(-)に動かすと半音ずつ下がります。普段は0の位置にしておきます。

## 調律スイッチ

音の高さを調節します。普段は440にしておきます。

## 音色スイッチ

「大正琴1」～「打楽器」まで16音色あります。

- 大正琴1 / 特松の音色
- 大正琴2 / 蘭の音色
- 箏 / 箏の柔らかい音
- 十七絃 / 十七絃の硬い音
- 唐琴 / ピアノ線の琴
- 三味線1 / 長唄三味線(細棹)
- 三味線2 / 地唄三味線(中棹)
- 琵琶 / 筑前琵琶
- 尺八 / 各種長さの尺八
- 篠笛 / 長唄用篠笛
- 能管 / 能で使われる横笛
- ひちりき / 雅楽で使われる管楽器
- 笙 / 雅楽で使われる管楽器
- 胡弓 / 弓で弾く三絃
- 掛声 / イョーオー
- 打楽器 / 太鼓・鈴・拍子木・鉦・鼓など

## 5 鍵盤

鍵盤を使うとき、開放の音(5)を出すときに弾きます。

## ビブレードスイッチ

スイッチを押すとランプが点灯し、鍵盤を強く押すとビブレードがかかります。

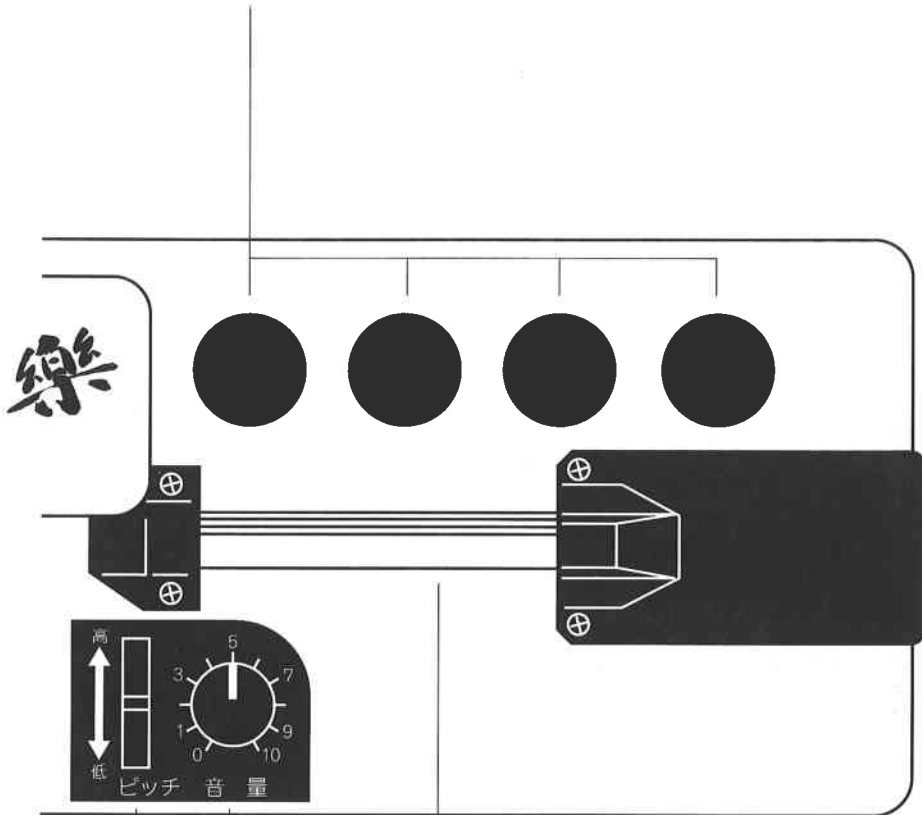


ヘッドホン差し込み口

MIDIコード差し込み口

太鼓センサー

手で叩くと打楽器の音が出ます。

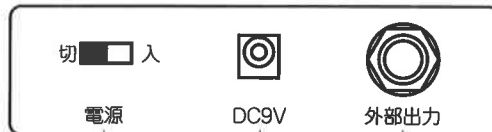


絃

音量調節つまみ

ピッチベンダー

上に回すと音が上がり、下に回すと音が下がります。



接続コード差し込み口

アダプター差し込み口

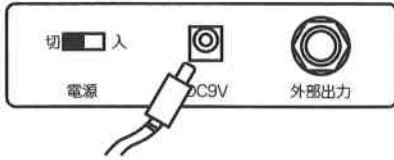
電源スイッチ

スイッチを入れると「大正琴1」のランプが点灯します。

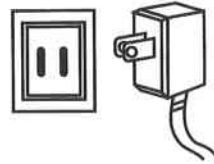
# 演奏の前に

## 接続方法

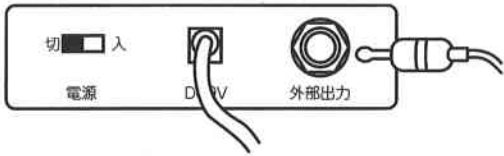
①付属のアダプターを、アダプター差し込み口に差し込みます。



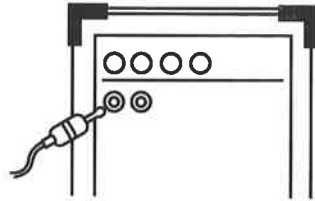
②コンセントにアダプターを差し込みます。



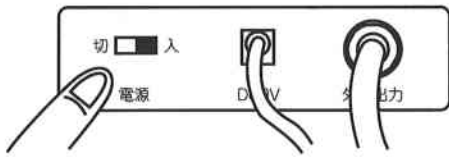
③接続コードを差し込み口に差し込みます。



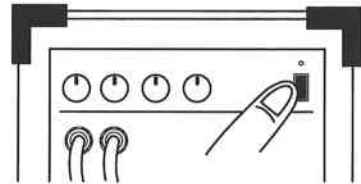
④接続コードをアンプの差し込み口に差し込みます。



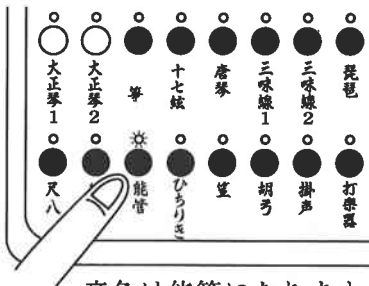
⑤「和楽」の電源スイッチを入れます。



⑥アンプの電源スイッチを入れます。



⑦演奏のしかたは、一般の大正琴と同じです。「音色スイッチ」を押して、お好みの音色を選び、弾いてください。



音色は能管になります。

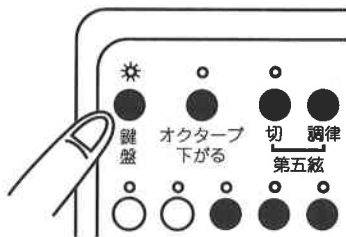
# さまざまな機能を使って弾いてみましょう

「和楽」には、さまざまな機能があります。それらの機能を使って演奏してみましょう。

## 鍵盤だけで演奏しましょう

「鍵盤スイッチ」を押すとランプが点灯し、ピアノのように鍵盤を押さえるだけで音が出ます。

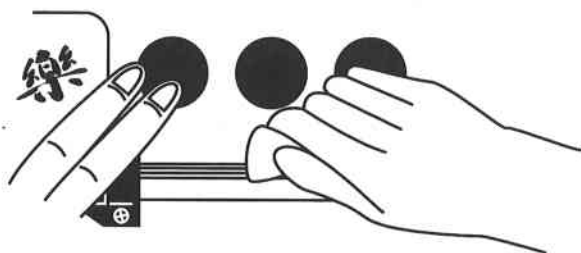
※この状態で、絃を弾いても音は出ません。



## 太鼓センサーを叩いてみましょう

絃を弾きながら「太鼓センサー」を手で叩いてみましょう。

※打楽器の音色を「太鼓センサー」にセットするには、「太鼓センサーへの登録」(7頁)を参考にしてください。



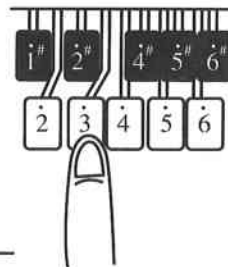
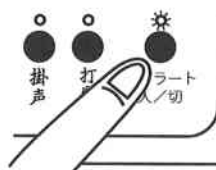
## ピッチベンダーを使いましょう

「ピッチベンダー」を上に戻すと音が上がり、下に回すと音が下がります。



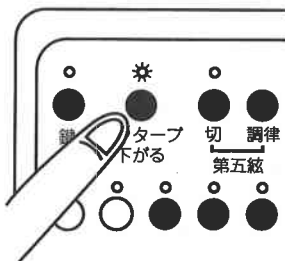
## 音を振るわせて効果をつけましょう

「ビブラートスイッチ」を押すとランプが点灯し、鍵盤を強く押すとビブラートがかかります。



## オクターブを切り替えましょう

「オクターブスイッチ」を押すとランプが点灯して音程が下がり、5が5になります。

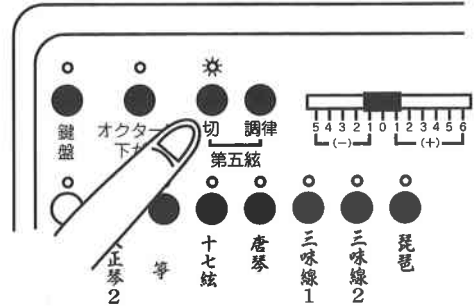


# 第五絃スイッチについて

「和楽」は第五絃(G線)の音程を簡単に設定することができます。

第五絃(G線)の発音を止めるとき

「第五絃スイッチ(切)」を押し、ランプを点灯させます。



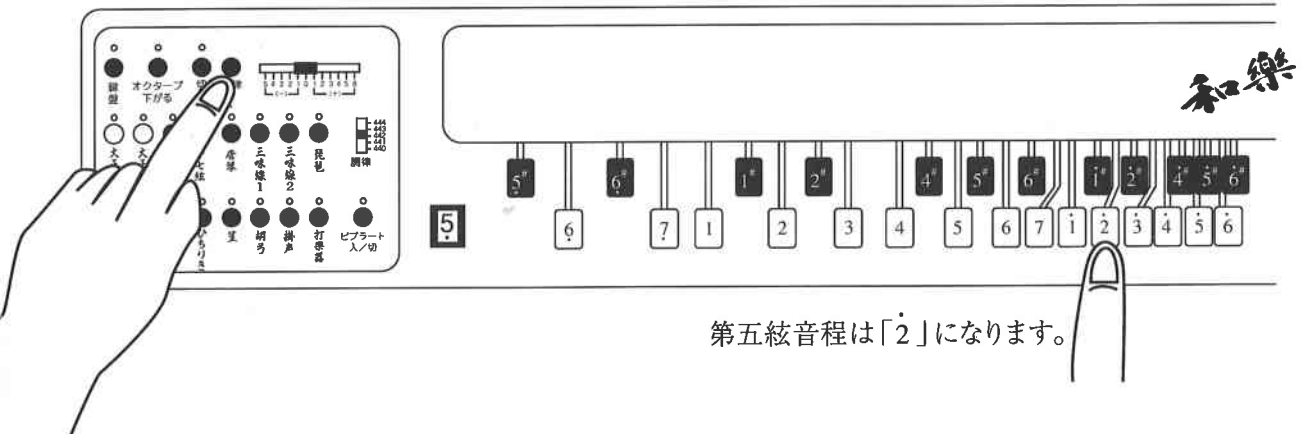
第五絃(G線)を弾いても音が出ません。

第五絃(G線)の音程の設定

設定したい音程の鍵盤ボタンを押しながら、「第五絃スイッチ(調律)」を押します。

設定した調律は、電源を切るまで記憶されています。もとの音程に戻りたいときは、同じ手順を繰り返してください。

「第五絃スイッチ(調律)」のみを押すと、オクターブ下の「5」になります。



第五絃音程は「2」になります。

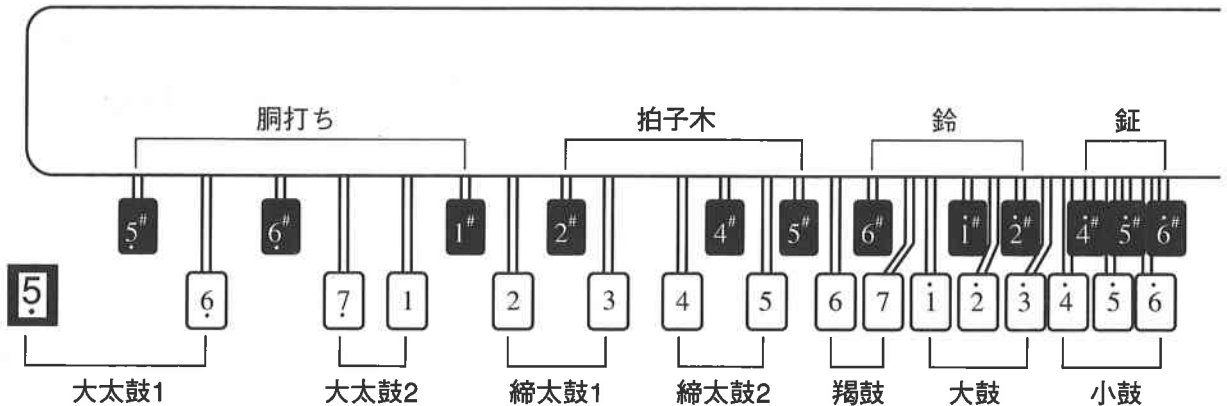


# 太鼓センサーへの登録

「和楽」は、「打楽器」の音色をそれぞれの「太鼓センサー」に登録することができます。  
電源スイッチを入れると、大太鼓2・縮太鼓2・大鼓・小鼓の音が出ます。

## 打楽器の音色

「打楽器」11種類の音色は、下図のように5～6<sup>#</sup>間での鍵盤に配置されています。

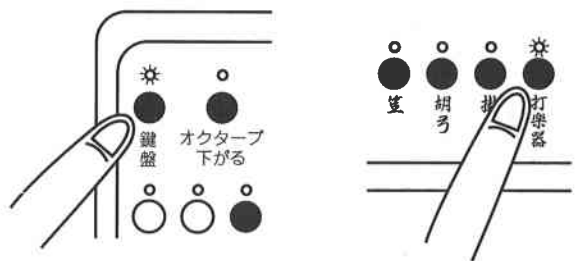


- 大太鼓1/雅楽用の太鼓（短い胴）●大太鼓2/民俗芸能用の太鼓（長い胴）●胴打ち/大太鼓の胴を打つ音
- 鈴/複数の鈴を鳴らす音●縮太鼓1/大きめの縮太鼓●縮太鼓2/小さめの縮太鼓●拍子木●鉦/金属製打楽器
- 羯鼓/雅楽で使われる縮太鼓●大鼓/能、長唄の囃子●小鼓/能、長唄の囃子

※音色の位置は「オクターブ切り替えスイッチ」「移調スイッチ」を押しても変わりません。  
※「打楽器」の音色では、「調律スイッチ」「ビブラートスイッチ」「ピッチバンダー」の効果がかかりません。

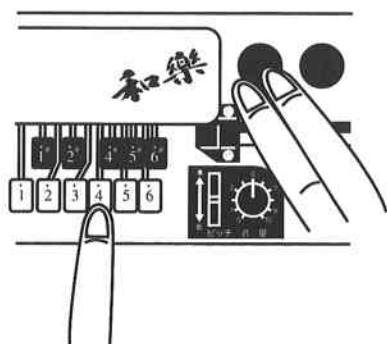
## 登録のしかた

- ①「鍵盤切り替えスイッチ」を押し、ランプを点灯させ、「音色スイッチ」の「打楽器」のボタンを押します。
- ②登録したい打楽器の音色鍵盤を押しながら「太鼓センサー」を叩けば音色が登録されます。



※登録した音色を変更したいときは同じ手順を繰り返してください。

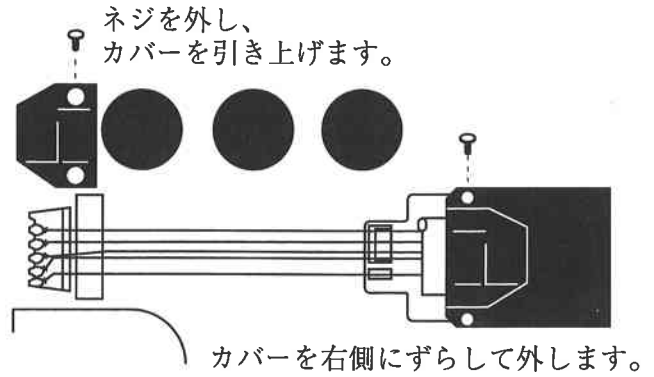
※電源を切ると、大太鼓2・縮太鼓2・大鼓・小鼓の音に戻ります。



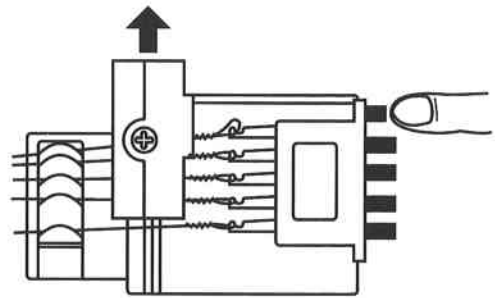
# 絃の張り替え

絃が切れるまで張り替えの必要はありません。

①プラスチックカバーを外します。

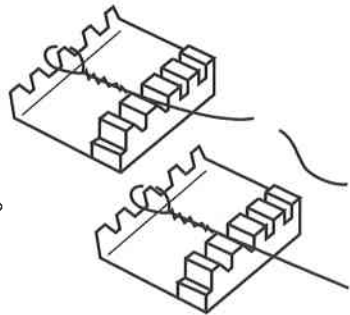


②ネジを回し、絃駒側の押さえ金具を外します。



③切れた絃を取り除きます。

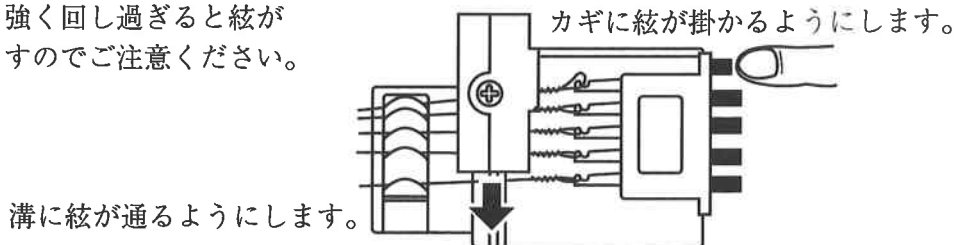
④新しい絃を絃ガイド側のツメに掛けます。



⑤絃駒ボタンを押しながら、絃駒側のツメに絃を掛けます。

⑥押さえ金具、プラスチックカバーを元通りに取付けます。

※押さえ金具のネジを強く回し過ぎると絃が切れることがありますのでご注意ください。



# ご注意

## こんな所では使わないで

直射日光の当たるところ、高温多湿のところでの使用は避けてください。



## 電源アダプターは

濡れた手で触れたり、コードを引っ張ったりしないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。

ご使用の後は電源スイッチを切り、コンセントから電源アダプターを抜いてください。



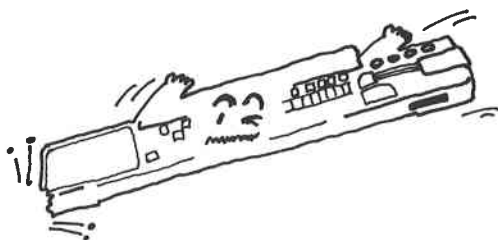
## お手入れ

お手入れは柔らかい布でカラ拭きしてください。シンナー、ベンジン等は絶対に使用しないでください。（製品を美しく保ちつづけるために「大正琴お手入れセット」をお薦めします。）



## 大正琴を大切に

落としたり、ぶついたりしないでください。傷がつくだけでなく、故障の原因になります。



---

## 故障と思われる前に

---

故障と思う前に、もう一度確かめてみましょう。

### 音が出ない

- 電源アダプターがしっかりと、「和楽」及びコンセントに差し込まれているか、確認してください。
- 電源スイッチが入っているか確認してください。
- 他の電気製品の電源プラグをコンセントに差し込み、電気が来ているか確認してください。
- 「和楽」がアンプとしっかりと接続されているか、アンプの電源プラグがコンセントに差し込まれているか、確認してください。

### 音色によって音の大きさが違う

- 電子楽器の性質上、音色によって音の大きさが異なることがありますが故障ではありません。

### 電源スイッチを入れると雑音が入る

- 電源スイッチを入れるとアンプから雑音が出るがありますが、故障ではありません。

### 演奏中雑音が入る

- 電気製品や蛍光灯のスイッチを入れたり、切ったりすると雑音が入ることがあります。気になる場合は、原因と思われるものから遠ざけて使用してください。

### 音が割れる。ビリつく。

- 周りに窓ガラスなど振動しやすいものがあると、共鳴して音が割れて聞こえることがあります。音量を小さくするか、共鳴物から遠ざけて使用してください。

---

# MIDIについて

---

MIDI（ミディー）とはMusical Instrument Digital Interface（ミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス）の略で、楽器どうしを接続して情報を交換しあうための統一規格です。MIDI対応の楽器であれば、どこの国の、どのメーカーのものでも情報の交換が行えます。

## 接続のしかた

「和楽」には「MIDI出力端子」があります。演奏の情報を送り出すときは、この端子と音を出す楽器のMIDI入力端子とを、専用のMIDIケーブルで接続します。

MIDI出力



MIDIケーブル

## MIDIを使って

MIDIの使い方は簡単。

「和楽」とMIDI対応の電子楽器をケーブルで接続するだけで、さまざまな演奏が楽しめます。

## 和楽のMIDIについて

- 次の情報が送信されます。
  - ◆ どの鍵盤が押されたか。離されたか。
  - ◆ どの弦が弾かれたか。
  - ◆ 音の高さ。
  
- 電源をONにすると
  - ◆ 送信チャンネルはch1。打楽器はch10です。

# 電子大正琴「和楽」MIDIインプリメンテーションチャート

Date : 1991.5.1

Version : 1.0

ファンクション...	送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル 電源ON時 設定可能	1, 2, 3, 4, 5, 10 ×	×	
モード 電源ON時 メッセージ 代用	4 注1) × *****	×	
ノート ナンバー: 音域	35-62 *****	×	
ベロシティ ノート・オン ノート・オフ	○ ×	×	
アフター タッチ キー別 チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベンド	○	×	
コントロール チェンジ	○	×	モジュレーション
プログラム チェンジ: 設定可能範囲	×	×	
エクスクルーシブ	×	×	
: ソング・ポジション コモン: ソング・セレクト : チューン	×	×	
リアル: クロック タイム: コマンド	×	×	
: ローカル ON/OFF その他: オール・ノート・オフ : アクティブ・センシング : リセット	×	×	
備考	注1) 大正琴(1絃)=ch 1 // (2絃)=ch 2 // (3絃)=ch 3 // (4絃)=ch 1 // (5絃)=ch 4 // (打鍵)=ch 5	その他の(1~4絃)=ch 1 旋律楽器(5絃)=ch 4 打楽器(1~5絃)=ch 10	

モード1: オムニ・オン、ポリ  
モード3: オムニ・オフ、ポリ

モード2: オムニ・オン、モノ  
モード4: オムニ・オフ、モノ

○: あり  
×: なし

